

審 議 経 過

No. 1

〔要 点 記 録 〕

【次第】

1. 開会
2. 出席者自己紹介
3. 議事
4. 意見交換等
5. その他
6. 閉会

【3. 議事】

- (1) 協議会の役割及び取組状況について（資料P2～3）

協議会の役割及び、協議会設置の利点、会議構成、令和2年度の取組実績について説明を行った。

- (2) 児童虐待等相談対応状況について（資料P4～5）

相談件数の推移、令和2年度の種類別内訳、経路別の相談件数、年齢別の相談件数について報告した。また、協議会としての課題の説明を行った。

- (3) 要保護児童対応例について（資料P6～10）

実際にあった対応実例を紹介し、要保護児童対策協議会の働きについて説明を行った。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 2

(4) 令和3年度の取組等について（資料P11）

令和3年度の取組等について説明を行った。

⇒（西委員）虐待の判断基準と、県児童相談所・家庭児童相談室の関わりについて詳しく説明して欲しい。

（事務局）資料P9～10を用いて、チェックの項目により区分をランク分けしている事と、ランクにより関わる機関が異なる事や、支援するケースの違いについて説明した。

【4. 意見交換等】

⇒意見等なし

【5. その他】

〈事務局〉

10月、2月に開催予定の実務者会議について依頼した。

【6. 閉会】